

カボチャにもいろいろあるんです。
～ユニークなタイプのカボチャたち～
「ながちゃん」「朱里」の紹介

雪印種苗(株)
園芸作物研究グループ
野菜研究チーム
広瀬 慶多

5

1.はじめに

「カボチャ」についてほとんどの人が「皮が濃い緑色」、「形はやや平たい楕円形」、「果肉は濃い黄色」といったイメージを持たれているかと思います。もちろんスーパーなどの店頭に並んでいるカボチャはそうなのですが、最近では直売所などで色も形も様々なカボチャたちを見ることができます。その種類によって煮物に合うのか、スープに合うのか、スイーツに合うのか調理方法が異なることもあります。

今回は弊社が販売しているユニークなタイプのカボチャである「ながちゃん」と「朱里(あかり)」について品種特性と栽培のポイントについて紹介いたします。

2.ながちゃん

①ながちゃんの品種特性

果皮は普通の濃緑色なのですが、形は首の細い長紡錘形というインパクト大の見た目です。大きさは長さ40cm前後となりヘチマを思い浮かべますが、正真正銘カボチャです。1果重は2～3kgとビッグです。

皮の硬いカボチャを切るのには力が必要のため、家庭では男性の仕事になっているかもしれません。「ながちゃん」は皮があまり硬くないため女性にも切りやすいという評価をいただいています。また肉付きが全体的に均等であることから、同じ肉厚・大きさに切り分けることが可能で調理がはかどります。

果肉の色は食欲をそそる濃い黄色です。収穫直後はホクホク感を楽しめますが、まだ甘みは少ない傾向にあります。「ながちゃん」の本領発揮は収穫後1ヶ月くらいからが目安です。追熟させると糖化が進んで甘味が増し、食感はきめ細やかでしっとりとしてきます。追熟後の上品な食味を煮物などでお楽しみください。

②ながちゃんの栽培のポイント

本品種は草勢が強いため、過繁茂(着果不良の原因)に注意してください。多肥、直播や若苗の定植は特に過繁茂の原因となりやすいので避けてください。

肥培管理は追肥重視型とし、元肥は従来品種の50%を目安に施用します。着果確認後に必要に応じて追肥をおこないます。追肥はNK化成肥料をつる先に散布します。茎葉が繁茂して圃場に入るのが困難な場合は防除に合せて液肥の葉面散布をおこなってください。液肥は早く効きますが、肥効期間が短いので複数回散布します。

定植は従来品種と比較して遅めの生育ステージが適します。露地栽培でも10.5cmまたは12cmポットを使用して本葉4枚以上まで育苗します。雌花の着生を促すために本葉が展開し始めたら夜温を低く管理します。育苗期間がやや長いいため苗同士の間隔をとって徒長を防いでください。

つる伸びが早く、やや節間が長いいため畝幅は標準より広くとって3.5～4.0m、株間は70cm程度として子づる2本仕立てとします。側枝が多く発生するので、つる傷防止や草勢のコントロールのために着果節位までの側枝を除去します。



これでもカボチャ?
「衝撃的な見た目」と
「きめ細やかで上品な食味」の
二刀流!

ながちゃんの施肥例 (kg/10a)

作 型	元 肥			追 肥
	窒素	リン酸	カリ	NK化成肥料
露地マルチ	5	18	12	窒素、カリ 2～3

アブラムシ、細菌病、つる枯れ病、うどんこ病の薬剤防除を定期的におこなって収穫期まで草勢を維持してください。収穫の目安は開花後45日程度ですが、着果状況や草勢次第では完熟が遅れます。収穫期が近くなったら果梗部を確認し、果梗全体にコルク化が進んだ完熟果のみを収穫します。収穫時は柱頭が傷つかないように注意し、切り口が乾いてからコンテナへ詰込み、収納してください。

収穫後は遮光した風通しがよい場所に保管し、キュアリングをおこないます。キュアリングをおこなうと果梗の切り口や果皮のすり傷は乾燥し、貯蔵性が向上します。収穫直後は甘味が少なく感じるため、貯蔵して追熟させてから出荷します。

3. 朱里(あかり)

①朱里の品種特性

皮の色はきれいな朱色で、淡色の条斑が少し入ります。形は若干甲高の偏円形で、大きさは中程度、1.6～1.8kg程度の6玉サイズに揃います。果肉はやや厚く、色は鮮やかな橙黄色です。肉質はしっとりとした粘質系で、加熱調理後のざらつきがありません。強い甘みこそありませんが風味が良く、色と香りを活かしたスープやスイーツ用途に最適です。

皮がやや薄く、果肉があまり硬くないため包丁で切るのが容易です。皮はピー

ラーで浅くむくことができるため可食部を多くとることができます。わたと種を取って茹でるか蒸した後、粗水分をとり、つぶしてペーストにします。これに牛乳や砂糖を加えてスープやプリンなどに調理すればその色と香りを楽しめます。保存する場合はペーストの状態で冷凍保存するといでしょう。

②朱里栽培のポイント

雌花の着生が良好で低節位から着果が安定します。着果数が多い多収品種で、生育初期から草勢を強めに維持することが重要です。

草勢が劣ると着果不良または小果の原因となります。圃場には完熟堆肥など有機質を十分に投入し、施肥量は従来品種並～やや多肥とします。窒素肥料はカリとともに分施とし、雌花の開花始めにNK化成肥料をつる先に施用します。管理上追肥が困難な場合はロング肥料など緩効性窒素肥料の元肥全量施用をおこないます。

初期生育を確保するためにはやや若苗での定植が適します。本葉3.5～4枚(育苗期間25～30日程度)までに確実に定植してください。草勢がややおとなしいためセル成型苗を利用した移植栽培にも向い

ています。セル成型苗利用の場合は圃場の乾燥に特に注意し、降雨が期待できない時は灌水をおこなって活着を促進させてください。畝幅は3.0～3.5mとして、株間は子つる2本仕立てでは60～70cm、3本仕立てでは90～100cmとします。着果節位までの側枝は基本的には除去しますが、初期生育がおとなしめの場合は放任してもかまいません。低節位から雌花の着生が良好で、株元に着果がみられることがあります。マルチ上に着果した果実は変形果となりやすいので摘果すると果形が揃います。

収穫の目安は開花後35～40日です。収穫期が近くなったら果梗部を確認し、果梗全体にコルク化が進んだ完熟果のみを収穫します。果皮が淡いオレンジ色の果実、果皮に緑色が残っている果実は未熟果のおそれがありますので混入しないように注意します。収穫中の打撲は貯蔵中の腐敗の原因となるので優しく取り扱ってください。

糖化が早い早生種であり長期貯蔵には不向きです。キュアリング後は直ちに出荷(加工)します。

「朱里」の施肥例 (kg/10a)

作 型	元 肥			追 肥
	窒素	リン酸	カリ	NK化成肥料
露地マルチ	10	18	12	窒素、カリ 2～3



赤皮多収品種。色鮮やかな果肉で風味が良く、スープやスイーツ加工用途にぴったり！

4. おわりに

直売所などで見かけるは少し変わったタイプのカボチャたちは人目を引きませんが、どんな食感なのか、どんな調理方法に合うのかを説明しないとなかなか購入には至らないのではないかと思います。今回紹介した「ながちゃん」、「朱里」についての特性と栽培のポイントをご理解いただき、美味しい「ながちゃん」と「朱里」を販売いただければ幸いです。販売時は是非おすすめの調理方法なども紹介してください。